

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 20 年 5 月 29 日 (2008.5.29)

【公開番号】特開 2007-235429 (P2007-235429A)

【公開日】平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)

【年通号数】公開・登録公報 2007-035

【出願番号】特願 2006-53414 (P2006-53414)

【国際特許分類】

H 0 4 N 11/00 (2006.01)

H 0 4 N 11/24 (2006.01)

H 0 4 N 7/01 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/391 (2006.01)

H 0 4 N 9/64 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 11/00

H 0 4 N 7/01 G

G 0 9 G 5/00 5 2 0 V

G 0 9 G 5/00 5 5 0 X

H 0 4 N 9/64 E

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 4 月 15 日 (2008.4.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

映像信号を記憶領域に格納する第 1 メモリ部と、

前記映像信号と前記第 1 メモリ部から読み出した映像信号との間に動きの有無を検出し、少なくとも静止時に前記映像信号と前記メモリ部から読み出した映像信号との平均信号を求めて出力する平均化回路と、

前記平均化回路の前記平均信号を記憶領域に格納する第 2 メモリ部と、

前記平均化回路の前記平均信号と、前記第 2 メモリ部の出力と、前記第 1 メモリ部からの出力を受けて、前記映像信号がブルダウン信号に基づくかどうかを判断し、前記ブルダウン信号に基づくものと判断した場合、前記ブルダウン信号の複数のフレームからデインターレス処理のためのブルダウン補間信号を選択するブルダウン検出回路と、

前記平均化回路の出力と、前記第 2 メモリ部の出力と、前記第 1 メモリ部からの出力を受けて、デインターレス処理のための補間信号を生成する補間信号生成回路と、

前記ブルダウン検出回路からの前記ブルダウン補間信号又は前記補間信号生成回路からの前記補間信号を受け、前記ブルダウン検出回路が前記映像信号は前記ブルダウン信号に基づくものと判断する場合、前記ブルダウン信号を前記第 2 メモリ部の出力に加えることでノンインターレス信号を生成し、前記ブルダウン検出回路が前記映像信号は前記ブルダウン信号に基づくものではないと判断する場合、前記補間信号を前記第 2 メモリ部の出力に加えることでノンインターレス信号を生成する走査変換回路と、

を具備することを特徴とする映像処理装置。

【請求項 2】

前記平均化回路により、前記映像信号のクロスカラー・ドット妨害の除去を行なうことを特徴とする請求項 1 記載の映像処理装置。

【請求項 3】

前記平均化回路は、前記映像信号の静止状態の程度に応じて、静止の程度が大きくなれば平均化をより大きな程度で行い、静止の程度が小さくなり映像の動きが大きくなれば平均化を行なう程度をより小さくすることを特徴とする請求項 1 記載の映像処理装置。

【請求項 4】

前記第 1 メモリの容量は、前記第 2 メモリの略 2 倍であることを特徴とすることを特徴とする請求項 1 記載の映像処理装置。

【請求項 5】

前記ブルダウン検出回路は、前記映像信号が前記ブルダウン信号に基づくか否かを、前記映像信号において規則的に同一のフレーム画像が連続しているかどうかにより判断することを特徴とする請求項 1 記載の映像処理装置。

【請求項 6】

前記ブルダウン検出回路は、前記映像信号が前記ブルダウン信号に基づくものと判断し、前記ブルダウン検出回路は、前記第 1 メモリ部の出力と前記第 2 メモリ部の出力とが同一であり、前記映像信号と前記第 1 メモリ部から読み出した映像信号との間の静止の程度が一定値以上であると判断した場合、前記走査変換回路は、前記補間信号生成回路からの前記補間信号を前記第 2 メモリ部の出力に加えることでノンインターレス信号を生成することを特徴とする請求項 1 記載の映像処理装置。

【請求項 7】

前記映像信号を前記第 1 メモリ部に供給するチューナ部と、

前記走査変換回路から前記ノンインターレス信号を受けて、駆動信号を生成するドライバ部と、

前記ノンインターレス信号を受けこれに応じて映像を表示するディスプレイ部と、

を更に具備することを特徴とする請求項 1 記載の映像処理装置。

【請求項 8】

映像信号を第 1 記憶領域に格納し、

前記映像信号と前記第 1 記憶領域から読み出した映像信号との間に動きの有無を検出し、少なくとも静止時に前記映像信号と前記第 1 記憶領域から読み出した映像信号との平均信号を求めて出力し、

前記平均信号を第 2 記憶領域に格納し、

前記平均信号と、前記第 2 記憶領域の出力と、前記第 1 記憶領域からの出力を受けて、前記映像信号がブルダウン信号に基づくかどうかを判断し、前記ブルダウン信号に基づくものと判断した場合、デインターレス処理のためのブルダウン補間信号を前記ブルダウン信号の複数のフレームから抽出し、

前記平均化による出力と、前記第 2 記憶領域の出力と、前記第 1 記憶領域からの出力を受けて、デインターレス処理のための補間信号を生成し、

前記ブルダウン補間信号又は前記補間補間信号を受け、前記映像信号は前記ブルダウン信号に基づくものと判断された場合、前記ブルダウン信号を前記第 2 記憶領域の出力に加えることでノンインターレス信号を生成し、前記映像信号は前記ブルダウン信号に基づくものではないと判断された場合、前記補間信号を前記第 2 記憶領域の出力に加えることでノンインターレス信号を生成することを特徴とする映像処理方法。